



Solamente

Z/iS 連携キット SR-200

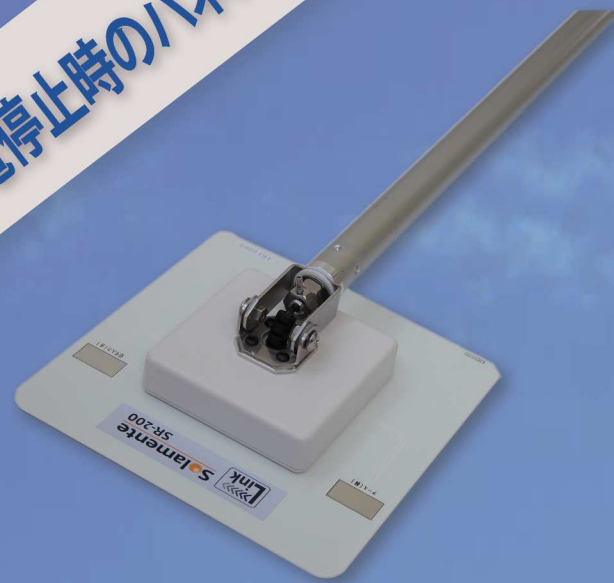
機能拡張オプション

送電前・送電停止時のパネル点検ニーズに対応!

連系前に パネル点検ができる



竣工検査や停電点検などの送電前・送電停止時に故障パネルを発見するソラメンテの拡張機能



- 送電前・送電停止時のパネル点検が可能に
- 連系前や停電時の点検ニーズに対応
- シンプル操作で高速点検(約3秒/パネル)

Link 連携機能対応について:
ソラメンテLinkオプションZ/iS連携キットSR-200のご使用には、ソラメンテZ (SZ-1000, SZ-200)およびソラメンテ-iS (SI-200)が必要です。

Z/iS連携キット SR-200
¥120,000- (税込 ¥132,000-)

送電前・送電停止時パネル点検

ソラメンテ-Z/iS連携キット SR-200

今後増加する送電前・送電停止時のパネル点検を、効率的にできる点検手法を開発しました。Z/iS連携キットSR-200が加わることで、送電中、送電停止にかかわらずすべてのパネル点検を「ソラメンテシリーズ」で対応できるようになりました。



● 高速チェックで故障を特定

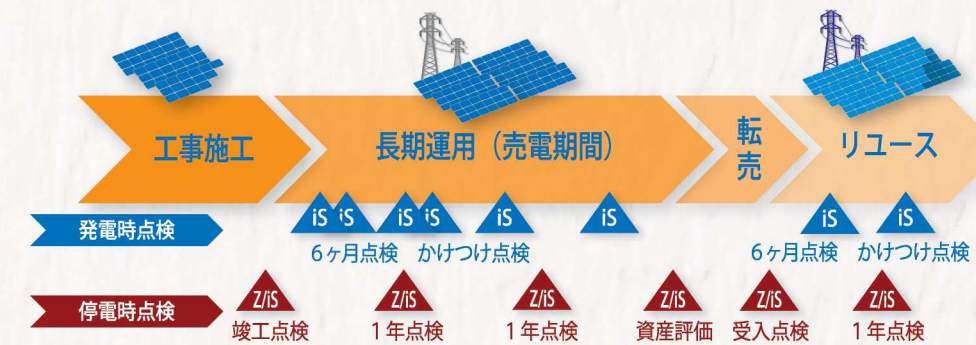
接続箱のストリング端子にプローブしたソラメンテ-Z (SZ-1000, SZ-200)から送信を開始。ストリングに配置されたパネル表面を順番にワンタッチしながら、ソラメンテ-iS (SI-200)が音とランプで受信を知らせます。3秒タッチとノイズ低減技術で高速かつ正確な点検ができ、クラスタ断線やケーブル断線などの故障パネルを特定します。

● 点検方法

ソラメンテ-Z (SZ-1000, SZ-200)とiS (SI-200)を連携し、ストリング回路に沿ってパネル上をセンサー (SR-200)でチェックします。センサーの反応が途切れた場所に、故障パネルがあります。

強まる送電前・送電停止時のパネル点検ニーズ

太陽光パネルの点検は、全ストリングのチェック (ソラメンテ-Z) から始まります。異常ストリングを検出したら、次にそのストリング内にある故障パネルを特定 (ソラメンテ-iS) します。



ソラメンテ Z/iS 連携センサー 仕様	
本体ユニットサイズ	960mm x 155mm x 40mm
本体センサー部サイズ	155mm x 155mm x 40mm
本体ユニット質量	410g
検査対象ソーラーパネル	単結晶・多結晶・ヘテロ接合タイプ
使用環境温度	0~40℃
使用環境湿度	85%以下 (結露なきこと)
コンタクトプローブ	1m

・仕様や外観などは製品改良のため予告なく変更することがあります。
・「ソラメンテ」は株式会社アイテスの登録商標です。

点検の様子をご紹介します

Z/iS連携キット SR-200

Youtube で動画公開中 ▶▶▶